

「鹿児島県の近現代」教育センター
令和5年度地域マネジメント教育研究プロジェクト

一様でない
アートへの関わり方を
共有するために

2023

12/1



14:30 - 17:40

途中休憩あり

登壇者

坂本 顕子 (熊本市現代美術館 学芸員)

早川 由美子 (NPO 法人 PandA 理事長)

コーディネーター

太田 純貴 (鹿児島大学法文学部 准教授)

会場：鹿児島大学郡元キャンパス法文学部2号館1Fラーニング・commons1

申し込み方法：下の二次元コードから事前の申し込みが必要です。

締切：11月27日12時まで



と 地域 と 教育

一般公開

参加費無料

一様でない アートへの関わり方を 共有するために

アートに関与するとは
どのようなことでしょうか。
おそらく、関与の仕方は複数
あるでしょう。制作者⇨アー
ティストとして? 楽しむ側⇨
観客として? 他にもきっと
あると思います。そして、
特定の関与の仕方からしか見
えてこない「光景」もあるは
ずです。今回は、熊本市現代
美術館で学芸員として活動し
てこられた坂本顕子さんと鹿
児島でNPO法人Pandaの代
表として活動してこられた早
川由美子さんをお招きし、お
二人のアートへの関与の仕方
や、アートを通じた地域、教
育などへの関わりを伺います。
お二人から見えるアートをめ
ぐる光景、アートや地域や教
育が紡ぐ光景はどのように異
なり、どのように共振するの
でしょうか。参加者全体で、
アート・地域・教育について
多角的に考える契機になれば
幸いです。

登壇者紹介



坂本 顕子

熊本市現代美術館 学芸員

1976年熊本市生まれ。同館設立準備室を経て現職。教育普及をベースに現代美術系の企画展やプロジェクトを多数行う。近年の主な展覧会に、「大竹伸朗 ビル景」展(2019年)、「ライフ 生きることは、表現すること」展(2020年)、震災や災害に関わる企画として、2017年度グッドデザイン賞を受賞した「Oo(マルオ)の食卓」展(2016年)、「3.11→4.14-16 アート・建築・デザインでつながる東北⇨熊本」展(2017年)、「令和2年7月豪雨 REBORN プロジェクト」(2020年)を手がける。

トーク内容

- ・熊本でアートするということ。教育普及からアートコミュニケーションへ。
- ・地域の課題と向き合う。美術館と文化政策。



早川 由美子

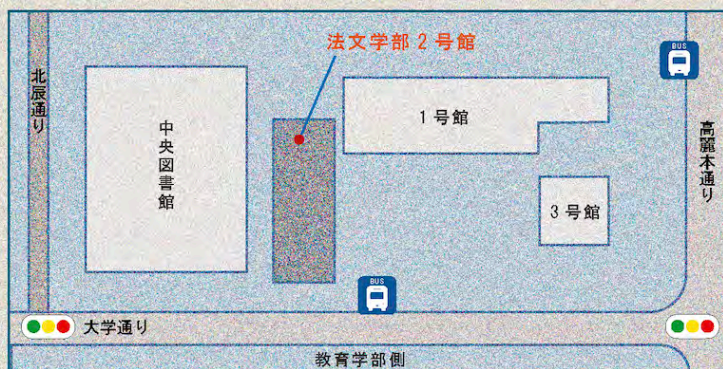
NPO 法人 Panda 理事長

鹿児島生まれ。金融や環境系の会社員を経て2004年文化芸術支援NPO Pandaを設立。(2010年にNPO法人Pandaに名称変更)人や地域の新たなつながりや魅力を引き出すさまざまな事業を展開すると共に、文化行政への参画や人材育成など文化芸術活動の土壌作りに関わる。機関誌文化ジャーナル「天地の拍子」発刊、PANDA アートスクール、かわなべ森の学校事業、「触れる造形展」(2006~2011年)、アーティスト支援事業(2009~2020年)、かごしま文化情報センター [KCIC] 策定・実行・運営、桜島・錦江湾ジオパークデザインチーム招集及びクリエイティブディレクター、国民文化祭かごしま2015実行委員及び文化庁メディア芸術祭鹿児島展イベントコーディネーター、鹿児島県「文化芸術による地域活性化講座(アートマネジメント入門編)」(2017~2019年)運営ほか

トーク内容

- ・時代とタイミング。立ち上げようと思ったきっかけとその後。
- ・アート NPO の活動はすべてが手探り。その足掛かりと繋がっていく様。
- ・さまざまなコトをやってきた20年。実はほとんどが頼まれごと。

● アクセス 駐車スペースには限りがあるので、可能な限り公共の交通機関をご利用ください。



※ 2号館は1号館に隣接しています。1号館を目指してお越しいただき、1号館内の案内図をご確認ください。

問い合わせ
鹿児島大学法文学部人文学科
太田 純貴 (yota@leh.kagoshima-u.ac.jp)